

—平成21年度—

新温泉町予算説明書



穴見海岸（山陰海岸ジオパーク）

まちを知^る
考^{える} 参^{加する}

私たちの新温泉町

1 予算規模

(1) 一般会計

一般会計は、これまで行ってきた事務事業の効率化の方針を緩めることなく、100年に1度と言われる経済低迷の中、町内の経済活性化、公共投資事業に配慮した予算としました。

町の将来、後年度の町財政状況の推移に配慮しながら、地域特性及び地域資源を活かした各種主要事業に取り組みます。

特に平成21年度は、国の経済対策の動向を踏まえ、自主財源の確保努力を最大限行うと共に、交付税措置等有利な町債発行に努めました。

財政構造を十分認識し、継続事業はもとより主要事業、新規事業の経費の見直しを行いました。また、町内企業の活性化の観点からも精査し、事業の取捨選択を行いました。

さらに、行政の責任分野を的確に見極め、行政関係経常経費の削減を行いながら、施策の優先順位について一層厳しい選択を行いました。

平成21年度予算

会 計 名		平成21年度予算
一 般 会 計		102億500万円
特 別 会 計	国民健康保険事業(事業勘定)	17億8,359万1千円
	国民健康保険事業(照来施設勘定)	4,440万1千円
	国民健康保険事業(八田施設勘定)	4,286万7千円
	国民健康保険事業(歯科施設勘定)	6,320万3千円
	老人保健事業	580万円
	介護保険事業	12億4,464万円
	浜坂地区残土処分場事業	4,833万8千円
	温泉地区残土処分場事業	2,015万4千円
	コミュニティ・プラント事業	1億902万7千円
	宅地造成事業	569万8千円
	簡易水道事業	1億1,432万円
	七釜温泉配湯事業	1,185万8千円
	下水道事業	10億72万5千円
後期高齢者医療	1億8,711万6千円	
公 営 企 業 会 計	浜坂温泉配湯事業	4,855万9千円
	水道事業	5億7,992万円
	公立浜坂病院事業	16億4,588万7千円

(2) 特別会計

独立採算制の原則を念頭に、経営的視点にたった事業運営の一層の効率化に努めました。

(3) その他

施設の維持管理については、その方法について根本から見直すとともに、競争原理の導入による経費の削減を図り、管理運営の効率性を高めることとします。

2 一般会計

(1) 歳入概要

①町税

平成21年度における税政改正及び景気の悪化、徴収努力等を勘案し、15億3,351万円としました。

②地方交付税

地方税の偏在格差是正により生じる財源を活用して、地方と都市の共生の考えから、新たに地域雇用創出推進費の増加と地域特有の事情等を積算し、普通交付税、特別交付税あわせて45億2,500万円(対前年度比3億8,700万円増)としました。

③町債

本年度も、後年度の償還負担の軽減を図るため、高利率の借入分を低利率へ借換を行います。また、後年度交付税措置のある有利な過疎債及び合併特例債を中心に借り入れします。

(2) 歳出概要

①人件費

定員適正化計画に基づき、退職勧奨制度の活用、退職者の補充抑制により総額の削減を図ります。

②一般行政経費

経常経費の支出が年々上昇している現状を踏まえ、その対策として従来にも増して徹底した経費削減に努めました。施設老朽化に伴う修繕についても、前年度に前倒しで対応したことによりその抑制を図りました。

一方で、認定こども園の開園及び町民バス運行に伴う経費が増加しました。

③投資的経費

新たな行政課題に適切に対応し、町合併によるメリットを最大限に活用し、総合計画をはじめとする既存計画に沿って、限られた財源の範囲内で、優先順位の高いものから事業実施します。

人と人との豊かな関係づくり

・ 自立と協働 ・

「まちづくりは人づくり」の基本理念のもとに、住民が能動的にまちづくりに参加・参画する意識づくりに取り組み、行政のみならず住民や事業者も自らの役割を十分に理解し、相互の協力により、人が輝くまちづくりを進めます。

1 住民が積極的に社会活動に参加するまちづくり

(1) 広報事業

住民と行政が情報を共有し、参画と協働のまちづくりを進めるため、広報しんおんせん、新温泉町ホームページを充実するとともに、「まちづくりアイデアはがき」により意見収集に努め、住民参加の行政運営を目指します。

○予算額 496万円

○担当課 企画課

(2) 協働まちづくり推進事業

協働まちづくり委員会で総合計画の進捗状況を把握するとともに、住民の「参画と協働」の基盤づくりを進めます。また、自治体の基本ルールを定めた「自治基本条例」と町の統一イメージづくりのための町花、町木、町鳥、町歌及び町民憲章制定に向けた取り組みを進めます。

○予算額 74万円

○担当課 企画課

(3) 新温泉町女性団体育成事業

町婦人会は会員相互の親睦を深めながら、社会貢献活動の推進と女性の自立、教養及び福祉の向上を図っており、町は補助金を支出して活動を支援します。

○予算額 34万円

○担当課 社会教育課、
教育委員会分室



2 健全な行財政を運営するまちづくり

(1) 行財政改革の推進

地方分権を進め、将来にわたり強固な財政基盤と住民満足度の高い行政体制を確立するため、行財政改革大綱・実施計画（平成18年度～平成21年度）に沿った取り組みを全庁あげて推進します。

○予算額 22万円

○担当課 総務課

(2) 補償金免除繰上償還事業

財政健全化に向け公債費負担を軽減するため、高金利の地方債を低利率の地方債に借換します。

○予算額 3億2,264万円

○担当課 総務課

(3) 新温泉改革・創造チーム設置事業 ※新規

中堅・若手職員が町政に対する斬新で柔軟な発想の提案を行うことで、町民ニーズにあった町政の運営と職員の士気の高揚を図ります。

○予算額 2万円

○担当課 企画課



新温泉改革・創造チーム
「チーム新温泉」

(4) 職員研修の充実

地方分権時代にふさわしい職員像を目指して、職員研修の充実のため、研修旅費の増額を図ります。

○予算額 150万円

○担当課 総務課

3 連携・交流を促進するまちづくり

(1) 山陰海岸ジオパーク構想推進事業

住民が町に自信と誇りのもてるまちづくり活動と観光振興、環境保全、教育活動、地場産業の振興を図るため、世界的な評価を得た山陰海岸のジオパーク構想を推進します。21年度こそ、世界ジオパーク国内候補地を目指して、再チャレンジします。

○予算額 1,086万円

○担当課 企画課

(2) 御火浦コミュニティセンター改築事業

住みよいまちづくりは、「地域コミュニティづくり」が不可欠です。地域住民のコミュニティ活動、防災拠点としての機能のほか、山陰海岸ジオパーク構想の但馬御火浦エリア拠点としての交流・学習施設として、御火浦コミュニティセンターを改築します。

○予算額 1億2,807万円

○担当課 企画課

(3) 集会施設建設事業 ※新規

古市集会施設を新築し、地域住民のコミュニティの活性化を図ります。

○内容 木造瓦葺2階建、
延べ床面積 約130㎡

○予算額 2,407万円

○担当課 総務課

(4) 多目的集会施設改修工事

多目的集会施設のガラスブロック、自転車置場等の改修を行い、利用者の安全確保と利便性の向上を図ります。

○内容 ガラスブロック、自転車置場、排水管等改修

○予算額 671万円

○担当課 総務課

(5) 第16回但馬“牛まつり”事業

但馬の人々が共通に認識し、誇りとしている

“但馬牛”をテーマに、人々が集い、楽しみ、気軽に参加できるまつりとして、但馬ふるさとづくり協会の補助を受け、9月27日(日)に開催します。

○予算額 100万円

○担当課 温泉総合支所振興課

(6) 第10回全日本かくれんぼ大会

地域と参加者の交流の中で、老若男女誰でも大会を楽しんでいただくことと、湯村温泉をより知ってもらうことを目的に、「全日本かくれんぼ協会」に委託して6月14日(日)に開催します。

○予算額 80万円

○担当課 温泉総合支所振興課

(7) 都市との交流・ふるさとおんせん会、観光大使、ひのきしん隊

温泉や雪のプレゼント事業を継続して実施します。本年は観光大使事業の再構築を図ると共に、災害ボランティア団体「ひのきしん隊」を受け入れ、交流します。

○予算額 184万円

○担当課 商工観光課、温泉総合支所振興課

(8) 国際交流事業

新温泉町国際交流協会が主体となって、南太平洋大学、香港大学等から学生を受け入れると共に、中学生の国際理解教育促進のため姉妹校交流の支援を行うことで、住民の国際意識の醸成を図ります。

○予算額 132万円

○担当課 商工観光課、学校教育課

(9) ふるさと子ども夢学校の推進(グリーンツーリズム関連) ※新規

ふるさと子ども夢学校事業の受け入れ整備のため、関係する団体の組織化を図ると共に、グリーンツーリズムに対応できる一般体験メニューの具体化を推進します。併せて、ジオツーリズムの準備も進めます。

○予算額 9万円

○担当課 商工観光課

安心な暮らしづくり

・ 安心 ・

防災体制の強化、消防救急体制の充実、施設・資機材の整備、情報ネットワークの拡充及び各種訓練活動の促進に努めます。

また、生活の安全を確保するため、交通安全対策や防犯対策を進めます。

さらに、健康診断や健康教室、介護予防事業の推進など保健、福祉、医療が連携した効果的な健康づくり対策を進めるとともに、海と山と温泉に恵まれた自然環境、スポーツ施設を幅広く活用するなど住民総参加の取り組みの充実に努めます。

1 災害に強いまちづくり

(1) 急傾斜地崩壊対策事業

急傾斜地の崩壊による災害から住民の生命を保護するため公共、県単の事業を積極的に要請、整備します。

- 内容 新規1地区、継続5地区
- 予算額 930万円
- 担当課 建設課、温泉総合支所産業建設課

(2) 自主防災組織活動交付金

非常時の応急活動を円滑に行うため、自主防災組織が実施する防災、消火訓練に対し、活動交付金を支給します。

- 内容 1地区あたり1万円＋（参加世帯×100円）
- 予算額 68万円
- 担当課 町民課、温泉総合支所住民福祉課

(3) 災害用備蓄用品の購入

自然災害や新型インフルエンザの発生等に対応するため、防災用品、避難者のための生活必需品を計画的に備蓄します。

- 予算額 23万円
- 担当課 町民課



(4) 消防車両等の更新

防災力の向上を図るため、可搬式ポンプ積載車2台を更新します。

- 予算額 1,489万円
- 担当課 町民課

(5) 小型消防ポンプ更新事業

小型消防ポンプ等、消防備品を更新します。

- 内容 小型ポンプ2台（ホース、筒先等付属機器含む）
- 予算額 436万円
- 担当課 温泉総合支所住民福祉課



小型消防ポンプ

(6) 美方広域消防本部負担金

美方広域消防本部に拠出し、住民の安心、安全を図ります。なお、本年度は高規格救急車を更新します。

- 予算額 3億1,991万円
- 担当課 町民課

2 安心に暮らせるまちづくり

(1) 町道新設改良事業

住民生活基盤である町道整備拡充を図ります。

- 内容 ・測量、設計 町道海上第一村中線ほか1路線
- ・工事 町道三尾村中線道路改良工事ほか5路線
- ・用地購入及び補償費
- 予算額 9,649万円
- 担当課 建設課、温泉総合支所産業建設課

(2) 恒久平和祈念式

戦没者を追悼し、恒久平和を願う式典を行います。

- 内 容 ・開催日 11月11日(水)
・場 所 夢ホール
- 予算額 72万円
- 担当課 福祉課

(3) 消費者行政の推進

悪徳商法等による消費者問題への総合的な消費者行政の推進を図るため、相談窓口の充実等を行います。

- 予算額 14万円
- 担当課 町民課、温泉総合支所住民福祉課

3 健康に生きるまちづくり

(1) 健康長寿実現のまちづくり事業

本年度は健康増進計画、食育推進計画策定後2年目を迎えます。昨年度の反省と見直しを図ると共に、特に住民や関係機関、各事業所等の参画を呼びかけながら、「健康は自分でつくるもの」への認識強化と連携を図り、寝たきりにならない明るいまちづくりを目指します。

- 予算額 28万円
- 担当課 健康課（保健福祉センター「すこやか〜に」）

(2) 特定健診事業（国保関連事業）

平成20年度から義務付けとなった特定健診を、本年度も40歳～74歳の住民を対象に実施します。特に、20年度の結果を踏まえ、住民への周知とその必要性をPRし受診率の向上に努め、若い世代からの健康に対する意識付けと生活習慣病予防を推進します。

- 予算額 1,095万円
- 担当課 健康課（保健福祉センター「すこやか〜に」）

(3) 母子保健事業

母子の健やかな成長発達を促進するため、妊娠期から乳幼児期の家庭訪問や健診の充実、保育所等と連携した育児支援に努めます。また、乳幼児

期からの食育の必要性を啓発し、口腔指導の充実を図るなど、基本的な生活習慣病予防の確立に努めます。

- 予算額 410万円
- 担当課 健康課（保健福祉センター「すこやか〜に」）

(4) 健康増進事業

20歳～39歳と75歳以上の住民を対象とした特定健診をはじめ、ガン検診などを実施します。また、各事業所等と連携し、受診率の向上を図り、住民の健康増進に努めます。

- 予算額 2,215万円
- 担当課 健康課（保健福祉センター「すこやか〜に」）

(5) 健康増進事業 ※新規

食の大切さを理解し、健康増進を図るため、食生活改善推進員養成講座を開設し、住民参加の生活習慣病予防対策を強化します。

- 予算額 前記(4)に含む
- 担当課 健康課（保健福祉センター「すこやか〜に」）

(6) 浜坂病院の医師確保対策、経営健全化

内科医師の確保を最重点課題として取り組みます。また、公立浜坂病院改革プランに基づいた経営の健全化を図り、住民に信頼され、安心して利用できる体制を目指します。

- 予算額 110万円
- 担当課 公立浜坂病院



公立浜坂病院

4 安心して子育てができ、高齢者や障害者等が暮らせるまちづくり

(1) 身体障害児療育訓練事業

理学療法士による身体障害児の個別療育訓練を実施し、子どもの自立と家族への支援を行います。

- 予算額 57万円
- 担当課 健康課（保健福祉センター「すこやか〜に」）

(2) 福祉医療費助成事業の充実

平成21年7月策定予定の兵庫県新行革プランの見直しに対して、本町は少子化対策、高齢者等が安心して医療が受けられるよう町単独での助成を継続し、福祉の増進を図ります。

- 内容 老人医療費、重度障害者医療費、母子家庭等医療費、高齢重度障害者医療費、寡婦医療費等の扶助を実施
- 予算額 6,086万円
- 担当課 健康課、温泉総合支所住民福祉課

(3) 妊婦健康診査費助成事業

健康で元気な赤ちゃんを出産するために、妊婦に対し妊婦健康診査費助成を拡充し、経済的支援を図ります。併せて、出産までに必要とされる14回の健康診査が完全に受診できるよう勧奨します。

- 予算額 892万円
- 担当課 健康課（保健福祉センター「すこやか〜に」）

(4) 乳幼児等医療費助成事業

平成21年7月策定予定の兵庫県新行革プランの見直しに対して、町では少子化対策の一環として安心して医療が受けられるよう町単独で継続して小学校3年生までの乳幼児、幼児、児童に対して医療費を助成します。

- 予算額 2,984万円
- 担当課 健康課



(5) 次世代育成支援行動計画の推進

次世代育成支援行動計画策定委員会を開催し、計画の進捗や事業評価を行います。また、行動計画（後期計画）策定に係るアンケートを実施します。

- 予算額 40万円
- 担当課 福祉課



ふれあいセンターゆめっこランド

(6) 認定こども園運営事業 ※新規

核家族化、母親の就労の増加、家庭生活の多様化による保護者ニーズへの対応及び超少子社会の時代の変化等に対応するため、新温泉町次世代育成支援行動計画で定めた幼保一元化計画に基づき、平成21年度から保育所、幼稚園の要素を組み合わせた「浜坂認定こども園」「大庭認定こども園」を設置、運営し、幼児の育成環境及び子育て支援環境の充実に努めます。

- 予算額 2億1,757万円
- 担当課 福祉課



浜坂認定こども園

(7) 放課後児童健全育成事業

保護者が就労等により昼間家にいない小学校児童に対し、放課後に遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。

- 予算額 384万円
- 担当課 福祉課

(8) 多子世帯保育料軽減事業

多子世帯に対し、第3子以降が利用する場合の保育料を助成します。

○対象者 保育所入所園児で、次のすべての項目に該当する園児

①同一世帯の満18歳未満の児童で3人目以降

②世帯の前年の所得税が40,000円未満

③月額保育料が6,000円を超える園児

○補助の上限 ①3歳児未満児 4,500円

②3歳児以上児 3,000円

○予算額 134万円

○担当課 福祉課

(9) 長寿祝福・敬老祝福事業

地域での敬老思想を高め、地域コミュニティづくりを図るため、敬老会事業に助成します。

○内容 ・最高齢者祝福、百寿、米寿、金婚夫婦のお祝い

・地域敬老会開催事業補助

○予算額 340万円

○担当課 福祉課



長寿グラウンドゴルフ大会

(10) 生きがい活動支援通所事業

高齢者の生きがい、孤立解消の事業を実施します。

○内容 日常動作訓練、趣味の講座等

○予算額 957万円

○担当課 福祉課



(11) 北但広域療育センター「風」運営費等負担金

1市2町で運営する障害児施設の運営費等を負担します。

○予算額 452万円

○担当課 福祉課

(12) 地域活動支援センター「ほおずき」運営費等負担金

1市2町で運営する精神障害者施設の運営費等を負担します。

○予算額 206万円

○担当課 福祉課

(13) 障害者支援・地域生活支援事業（地域活動支援センター）

障害者等を通所させ、創作活動及び生産活動の機会を提供し、障害者等の地域生活支援の促進を図るため、①地域活動支援センター「いずみ」、②地域活動支援センター「いわつばめ」、③地域活動支援センター「のぎく作業所」に運営補助し、生産活動、訓練作業の支援を行います。

○予算額 2,232万円

○担当課 福祉課

(14) 障害者支援・自立支援給付事業

障害者自立支援法により、在宅サービス、施設利用サービスの給付金、更生医療費等の給付支援を行います。

○予算額 1億6,894万円

○担当課 福祉課



県立但馬牧場公園

こころ豊かな人づくり

・ 誇り・生きがい ・

生涯学習を可能にする確かな学力の定着を図るとともに、個性、能力を伸ばす教育と相手を思いやる「豊かな心」を育み、たくましい体づくりを目指した教育を進めます。

また、世界的な自然遺産の保全、継承などにより、自然保護、地域内連携による郷土学習の推進を図り、ふるさとを愛する青少年を育成します。さらに、本町には恵まれた自然環境の中に各種の体験、地域資源発信施設が配置されており、これらの活用を通して、芸術やスポーツ、学習について、世代間、地域間交流を深め、豊かな人間形成を進めます。

1 人権が尊重されるまちづくり

(1) 人権啓発推進事業

人権啓発推進条例及び人権啓発方針に基づき、あらゆる差別の解消をめざし、「差別をなくし人権文化をすすめる」町民運動として各種団体・各地域における人権学習会、街頭啓発、人権講演会などを実施し、人権啓発を推進します。

○予算額 215万円

○担当課 総務課



(2) 隣保館活動事業

部落差別をはじめあらゆる差別の解消・根絶を目指し、住民の学習・交流の拠点として交流スポーツ大会、交流会、交流学习、教養文化教室、交流文化祭などの学習・交流事業を実施し、住民相互の理解と交流を促進します。

○予算額 418万円

○担当課 総務課

(3) 人権学習事業

人権にかかる教育の課題解決と人権が真に尊重される社会の実現を目指し、地域の教育活動や人権に関わる文化創造活動の振興を図ります。

○内容 人権学習事業（ささゆり・ひまわり）、町人権教育協議会交付金、町人権セミナーの開催、人権啓発冊子「ひらり第4号」印刷事業

○予算額 406万円

○担当課 社会教育課

2 次世代の担い手を育成するまちづくり

(1) 環境体験事業

小学校3年生を対象に、自然体験活動を通して自然の大切さ、命の大切さ、命のつながり、美しさに感動する豊かな心を醸成します。

○内容 小学校10校11クラス

○予算額 66万円

○担当課 学校教育課

(2) 小学生山陰海岸ジオパーク学習事業 ※新規

平成21年度に世界ジオパーク国内候補地入りを目指している山陰海岸の素晴らしさを総合学習の時間等を活用して学習します。

○内容 町内10小学校を対象にビデオ、資料等での学習、現地見学など

○予算額 10万円

○担当課 学校教育課



ジオパーク地質見学会

(3) スクールアシスタント配置事業

A D H D等により行動面で著しく不安定な児童や、その児童が複数在籍する小中学校への支援として、町単独でスクールアシスタントを配置し、一人

一人の実態に即した効果的な指導を行い、課題解決を図ります。

- 内 容 小学校3名、中学校1名
- 予算額 791万円
- 担当課 学校教育課

(4) 自然学校推進事業

小学校5年生を対象に、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、児童が人とのふれ合いや自然とのふれ合い、地域社会への理解を深めるとともに、心身ともに調和のとれた健全な児童の育成を図ります。

- 内 容 町内10小学校5年生 151名
(5泊6日)
- 予算額 306万円
- 担当課 学校教育課

(5) トライやる・ウィーク推進事業

中学2年生が職場体験を通じ地域に学び、共に生きる心や感謝の心を育み、自立性を高めるなど、「生きる力」の育成を図ります。

- 内 容 町内2中学校2年生 188名
(5日間)
- 予算額 150万円
- 担当課 学校教育課

(6) 浜坂中学校耐震補強・大規模改造等事業

平成21、22年度で浜坂中学校の耐震補強、大規模改造工事を行います。

- 内 容 21年度は主に屋内運動場と南校舎棟の工事を実施します。
 - ・屋内運動場 1,488㎡
 - ・南校舎棟 2,896㎡
- 予算額 7億1,172万円
- 担当課 学校教育課

(7) 新温泉町青少年育成推進事業

学校と家庭、地域が連携し、青少年の異年齢交流、異世代交流活動を実施し、思いやりのある心豊かな創造性や積極的な社会参加の態度を培います。また、地域で子どもが安心、安全に過ごせる環境づくりに

努めます。

- 予算額 169万円
- 担当課 社会教育課

(8) 新温泉町成人式事業

新温泉町に生まれ育ち、二十歳の節目を迎えた若者を、町を挙げて祝福するとともに、社会の一員として自覚と責任を持ち、社会に貢献しようとする新成人の意欲を育てます。

- 内 容 ・開催日 平成22年1月10日(日)
・場 所 夢ホール
- 対 象 平成元年4月2日～平成2年4月1日
生まれ
- 予算額 108万円
- 担当課 社会教育課

(9) 青少年育成指定コミュニティスポーツ事業

ビーチサッカーを通じて、地域や異世代との交流を図ることにより、青少年活動の活性化を進め、地域とのふれあいを深めます。

- 内 容 ・開催時期 平成21年8月29日(土)、
30日(日)
・実施内容 親子ふれあいビーチサッカー教室、大会
- 予算額 146万円
- 担当課 社会教育課

3 生きがい・楽しみ・誇りづくり

(1) 社会教育委員・派遣社会教育主事活動事業

多様化・高度化する住民の学習ニーズに対応する町の生涯学習を推進するため、社会教育委員(14名)を設置するとともに指導者の育成、確保のため、県派遣社会教育主事(2名)を配置します。

- 予算額 419万円
- 担当課 社会教育課

(2) 新温泉町文化祭

文化に対する住民の認識を高めると共に、地域に根付く豊かな文化のより一層の振興を図ることを目的として、実行委員会を組織し企画運営します。

○内 容 ・浜坂会場

作品展、お茶席（10月29日～11月1日）
文化講演会（11月2日）
舞台発表（11月3日）
菊花展（期間中）

・温泉会場

芸能発表、模擬店の出店
（11月3日）
作品展示（11月1日～3日）

○予算額 40万円

○担当課 浜坂公民館、温泉公民館

(3) 公民館講座開設

○内 容 ・浜坂公民館

「一般向け講座」女性
教養、男子調理、筆ペン習字、フラ
ワーアレンジメント

「児童向け講座」金管バンド、自然
体験

・温泉公民館

「一般向け講座」絵画、
書道、短歌、絵手紙（月1回実施）

「児童向け講座」コーラス（月2回
実施）

「短期講座」パソコン教室（年4講座）

○予算額 140万円

○担当課 浜坂公民館、温泉公民館

(4) 新温泉町立高齢者大学

生涯学習の機会を提供することで、楽しく学び、
趣味、教養を高めて、生きがいのある生活を創造し
ていただくことを目的として、一般教養講座、専門
講座等の各種事業を実施します。

○内 容 ・宇都野学園 教養講座（全員）、専
門講座（4講座）各7回、特別講座
1回、大学院講座3回、運動会、修
学旅行、遠足、学園祭等

・とちのみ学園 教養講座（全員）、
専門講座（7講座）を各7回、運動

会、修学旅行、遠足等

○対象者 60歳以上の町内在住者が対象です。

○予算額 122万円

○担当課 浜坂公民館、温泉公民館

(5) 夢ホールイベント

歌謡コンサート、クラシックパーク、映画鑑賞会
を開催します。

○予算額 235万円

○担当課 浜坂公民館、温泉公民館



クラシックパーク

(6) 子どもふるさと教室事業

文化財の重要性と保護意識の高揚を図ると共に、
子どもたちのふるさと教育の一環として開催しま
す。また、子どもたちの文化財への関心を深める機
会として「文化財愛護絵画作品展」を開催します。

○内 容 子どもふるさと教室（年6回開催）、
文化財愛護強調月間（絵画、文化財マッ
プ作品展）

○予算額 4万円

○担当課 浜坂先人記念館「以命亭」

(7) 前田純孝顕彰事業

郷土の先人前田純孝を顕彰するとともに、若い人
たちに短歌に関心を持っていただくため、第15回
「前田純孝賞」学生短歌コンクールを開催します。

○予算額 63万円

○担当課 浜坂先人記念館「以命亭」

(8) 宇野雪村顕彰事業

郷土の先人宇野雪村を顕彰するとともに、書道の
普及を図るため、第10回「宇野雪村賞」全国書道
展を開催します。また、共催事業として町内の小中
学生を対象とした「第7回新温泉町小中学生書作品

展」を開催します。

○予算額 235万円

○担当課 浜坂先人記念館「以命亭」

(9) 新温泉町わが町再発見写真展事業

新温泉町の素晴らしさを再発見する機会として、新温泉町の風景・行事等を題材とした写真作品を広く募集し、その優秀作品を表彰すると共に、第5回新温泉町わが町再発見写真展としてその応募のあった作品を展示します。

○予算額 12万円

○担当課 浜坂先人記念館「以命亭」

(10) 各種スポーツ大会の開催

気軽に参加できるスポーツ大会とスポーツ技術向上の大会を実施し、精神や体力の健全育成とともにふれあい・交流による相互の親睦を深めます。

○内容 水泳記録会、駅伝競走大会、ソフトバレーボール大会、スキー大会、スーパーソフトドッジ大会

○予算額 70万円

○担当課 社会教育課

(11) 各種スポーツ・健康づくり教室

水辺、海洋レクリエーション、伝統スポーツへの関心の高揚と技術の上達、体力づくりのために、教室、セミナー及び艇庫事業を行います。

○内容 水泳教室、少年相撲教室、ニュースポーツ講習会、マリンスポーツ（艇庫事業）

○予算額 69万円

○担当課 社会教育課

(12) ビーチフェスタ

山陰海岸ジオパーク構想実現への気運の醸成を図るため、山陰海岸国立公園である県民サンビーチでビーチバレー大会を開催し、海の素晴らしさを体感いただくとともに、新たな交流の場としての定着を目指します。

○予算額 60万円

○担当課 社会教育課



(13) 新温泉町麒麟獅子マラソン大会の助成

町の伝統文化である麒麟獅子をタイトルとした歴史あるマラソン大会を開催し、住民の体力増進、健脚を競うとともに町外からの大勢の参加をいただくことで、町に活力と振興を与え経済効果を図ります。併せて町の観光PR、地元の情報発信で都市との交流の場とします。

○予算額 170万円

○担当課 社会教育課

(14) 図書館イベント事業

より多くの人々に身近な図書館として利用していただくため、各種イベントや活動を行います。本年度は開館15周年記念事業も行います。また、イベントを通して本とのふれあいを深めると共に、読書指導リーダーの育成を図ります。

○内容 おはなし会、子どもシネマの会、手作り教室、一日図書館員体験、図書館まつりなど

○予算額 16万円

○担当課 加藤文太郎記念図書館

(15) 移動図書館運営事業

遠隔地を含めた幅広い地域で、多くの住民に図書資料を利用していただくため、移動図書館車による地域巡回を行います。

○内容 ・浜坂地域 4コース30ステーションを巡回

・温泉地域 4コース31ステーションを巡回

○予算額 44万円

○担当課 加藤文太郎記念図書館

(16) 図書館図書整備事業

住民のニーズに応えるため、新刊図書、リクエスト本、視聴覚資料、雑誌、新聞等幅広い収集を行い、気軽に利用できる図書館づくりを進めます。また、郷土、山岳の資料、学術的専門分野の資料収集及び寄贈図書の装備にも努め、蔵書の充実を図ります。

○予算額 328万円

○担当課 加藤文太郎記念図書館

豊かな地域産業づくり

- 活力 -

第1次、第2次、第3次産業間の連携、一体化により、産業構造の強化を図ります。さらに、伝統産業技術の後継者育成の支援や企業誘致を進め、雇用の安定、創出に努めます。あわせて、各産業の後継者確保や担い手の育成、若者の定住促進を目指し、雇用対策の充実、都市部の団塊の世代をはじめとしたUターンを受け入れ態勢の拡充を図ります。

また、海と山と温泉などのツーリズム資源を融合させ、多彩なスタイルによる交流を創造するとともに、交流型観光を推進します。さらに、近年の観光客のニーズに対応するとともに、住民一人ひとりがわが町に誇りを持っておもてなしをすることで、地域にさらに魅力をもたせていきます。

1 産業間の連携と人材を育成するまちづくり

(1) 新卒・Uターン激励会・若者町内施設利用券の発行

新社会人を対象に激励会を開催します。併せて町内施設利用券を交付し、まちづくりの参画を促します。

- 予算額 23万円
- 担当課 商工観光課

(2) 季節労務・杜氏組合育成

季節労務対策及び酒造技術の継承から但馬杜氏組合の活動を支援します。

- 予算額 63万円
- 担当課 商工観光課

(3) シルバー人材センター支援

シルバーエイジの生きがいと能力活用のため支援します。

- 予算額 542万円
- 担当課 商工観光課

(4) サンシーホール運営費

労働相談員を設置し運営します。特に、緊急雇用対策として労働市場の情報収集と提供を強化します。

- 予算額 579万円
- 担当課 商工観光課

(5) 地域活性化施設の設置 ※新規

旧浜坂高校温泉校跡地を活用し、地域貢献事業等

一定の事業を行う事業者を広く募集し、雇用機会の確保や地域の活性化を図ります。

- 予算額 6万円
- 担当課 商工観光課

(6) ふるさと雇用再生事業 ※新規

地域の雇用再生のため、ふるさと雇用再生事業を実施し、地域における雇用機会の創出を図ります。

- 予算額 338万円
- 担当課 商工観光課

2 自然活用型産業を振興するまちづくり

(1) 中山間地域等直接支払事業（第二期：平成17年度～21年度）

担い手育成による、農業生産活動等の維持を通じて、耕作放棄地発生を防止し、農地の多面的機能の保全を図ります。中山間地域等と平地地域との生産条件の不利を補正します。

- 内容 ・通常 17集落A = 383.57ha
・8割 12集落A = 81.64ha

- 予算額 8,962万円
- 担当課 農林水産課

(2) 広域基幹林道池ノ尾線開設事業

造林、保育等森林の整備を行うなかで、森林をとりまく諸問題解決への基礎づくりと、山林の果たすべき機能を向上させるため、広域林道を整備します。

- 内容 ・延長全体 L = 18,128 m、W = 5.0

m (起点) 千谷、(終点) 諸寄

- ・平成 21 年度 L = 1,200 m (諸寄工区 L = 800 m、千原工区 L = 400 m)

○予算額 2,100 万円

○担当課 農林水産課

(3) 中山間地域総合整備事業 (平成 20 年度～ 24 年度)

農業生産条件が不利な中山間地域の事情を踏まえ、それぞれの立地条件に応じた農業生産基盤の整備を総合的に行い、農業と農村の活性化を図ると共に、定住化を促進し、国土・環境の保全に資するため、浜坂地域を対象に農業用排水施設、農道、ほ場、防災安全施設等、農村施設の一体的な整備を行います。

○予算額 1 億 3,733 万円

○担当課 農林水産課

(4) 環境対策育林事業 (第二期：平成 19 年度～ 23 年度)

環境林としての森林整備を行って林床植生を豊かにし、水源かん養機能等の公益的機能を高めて住民生活の安全確保を図る事を目的に、増加する施業放置を解消します。

○内 容 スギ・ヒノキの人工林、材齢 16～45 年生が対象

A = 190ha (間伐：145ha、保育：45ha)

○予算額 1,084 万円

○担当課 農林水産課

(5) 森林整備地域活動支援事業 (第二期：平成 19 年度～ 23 年度) (農林水産課)

森林の有する多面的機能の持続的発揮を図るため、森林所有者等の適時適切な森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、施業実施区域の明確化作業、歩道の整備などの活動支援を行います。

○内 容 材齢 45 年生以下の人工林、支援対象は森林施業計画 30ha 以上の団地 (A = 3,485ha)

○予算額 1,742 万円

○担当課 農林水産課

(6) 畜産振興 (優良牛確保) 事業

全国和牛の改良用素牛供給地としての役割を十分認識し、良質の但馬牛生産の安定化を図り育種基地として優良牛の確保に努めます。

○内 容 あっせん会 3 頭、市導入・自家保留 40 頭 計 43 頭
波系加算 5 頭

○予算額 285 万円

○担当課 農林水産課

(7) 外国人漁業研修生受入事業 (第三期：平成 21 年度)

漁業の国際化と地元漁業の活性化を図るため、発展途上国の研修生が漁業体験を通して、日本の漁業界が有する技術、技能または知識を学び習得し、帰国後は漁業のリーダーとして活躍できるよう受入事業を推進します。

○予算額 864 万円

○担当課 農林水産課

(8) 漁業経営安定化資金利子補給事業 ※新規

漁業者等の経営の安定化を図るため、融資機関が漁業者等に融通する漁業経営安定化資金について、町が利子補給を行います。

○内 容 利子補給率：1%以内

○予算額 38 万円

○担当課 農林水産課



松葉ガニの水揚げ

(9) 漁業振興事業

漁業の衰退が関連産業や地域産業の衰退を招くことのないように、漁業経営の安定を図るための支援を行います。

- 内 容 ・漁獲共済加入推進事業（対象件数：44件）
・アワビ中間育成種苗導入事業 一式
・漁船建造資金利子補給事業 2隻
- 予算額 221万円
- 担当課 農林水産課

(10) 県営漁港整備事業

県営漁港内の航行の安全及び漁業活動の省力化と安全を図るため漁港施設の整備を行います。

- 内 容 防砂堤（浜坂漁港）L = 60 m、漁港浚渫（浜坂、諸寄）一式、積雪対策（浜坂、諸寄、居組）一式
- 予算額 1,592万円
- 担当課 農林水産課

3 交流型産業を振興するまちづくり

(1) 県大型観光交流キャンペーン推進事業（Destiネーション・キャンペーン事業）※新規

Destiネーション・キャンペーン事業期間中にジオパーク遊覧船特別運航と岬めぐり高原バスの運行を行い、誘客を促進します。

- 予算額 80万円
- 担当課 商工観光課

(2) 観光協会補助金

観光産業の全体振興のため、浜坂・温泉両観光協会に補助金を交付します。また、観光の一本化を目指すため、観光振興協議会の活動を推進します。

- 予算額 2,046万円
- 担当課 商工観光課、温泉総合支所振興課

(3) 観光キャラバン等PR事業

外部イベントに積極的に参加し、町をPRします。

- 予算額 173万円
- 担当課 商工観光課

(4) 温泉審議会等地熱対策

町全体の温泉保護、利活用を推進します。

- 予算額 217万円
- 担当課 商工観光課

(5) 公衆トイレ維持管理

町内6カ所（湯村温泉東駐車場（夢千代トイレ）、湯村温泉ポケットパーク、湯村温泉北駐車場、浜坂駅、浜坂・居組サンビーチ）の公衆トイレを維持管理します。

- 予算額 535万円
- 担当課 商工観光課、温泉総合支所振興課

4 商工業を活性化するまちづくり

(1) 町金融円滑化事業 ※新規

経済不況の中で、町中小企業振興資金融資のセーフティネット枠を設け、信用保証料の一部助成を行い、金融の円滑化を図ります。

- 予算額 123万円
- 担当課 商工観光課、温泉総合支所振興課

(2) 商工会補助金

商工業の振興のため、浜坂・温泉両町商工会に補助金を交付します。

- 予算額 1,551万円
- 担当課 商工観光課

(3) 商工会合併の推進

平成22年4月を目標に協議中の商工会合併について、幅広い産業連携の発展プランをもって合併すべく支援調整を図ります。

- 予算額 5万円
- 担当課 商工観光課

(4) 町中小企業振興資金融資預託金

町内中小企業の資金確保円滑化のための預託を実施します。

- 予算額 1億4,000万円
- 担当課 商工観光課、温泉総合支所振興課

住みたくなる環境づくり

- 快適・生活環境 -

本町は、上山高原をはじめとした森林、河川沿いの谷筋に広がる田園、港町や旧街道沿いの町並み、海辺の空間など、町の魅力の基本となる多様な景観を有しています。こうした景観を基盤に、良好で快適な生活環境を維持し、高めることに努めます。

また、浜坂地区中心市街地南部の活用をはじめ、中心市街地の活性化と土地区画整理など秩序ある土地利用を進めます。

1 自然を守り育てるまちづくり

(1) 自然公園維持管理

自然景観を保全するため、国立公園、国定公園、サンビーチ、バイカモ公園の清掃等を実施します。

- 予算額 251万円
- 担当課 商工観光課

(2) 上山高原エコミュージアムの推進

上山高原ふるさと館等の運営及びエコ体験プログラム事業を推進します。

- 予算額 271万円
- 担当課 商工観光課



インター
プリター
養成講座

(3) マリンポーチ維持再生事業

まちづくり交付金を活用し、マリンポーチをジオパークセンター（仮称）として再整備を図り、世界ジオパークの認証を目指します。

- 予算額 5,652万円
- 担当課 商工観光課

(4) 農地・水・環境保全向上対策事業（平成19年度～23年度）

農地や農業用水、ため池といった農業・農村資源を、食料の安定供給、多面的機能の発揮に不可欠な「社会共通資本」と位置づけて、地域ぐるみの保全活動を実施するため、集落を単位に農村保全活動組織を組織し、活動計画等について町と協定を結び、

その活動実践に対し助成します。

- 内容 ・保全活動助成（10a単位）水田 4,400円、畑 2,800円
- ・37集落 農地A = 553.32ha（田 516.28ha、畑 37.04ha）
- ・地域協議会へ町負担金を拠出し、地域協議会より交付。

- 予算額 643万円
- 担当課 農林水産課

(5) 地籍調査事業

公共事業の円滑な事業推進、災害復旧等の円滑な作業対応、住民間や官民間の境界に関する問題の解消、土地取引の円滑化、課税の適正化等を図るため、町全域を対象に国土調査法に基づく地籍調査事業を実施します。

- 内容 平成21年度は町営事業実施、換算実施面積 1.90 km²
- 予算額 2,719万円
- 担当課 農林水産課

(6) 緊急防災林整備事業（県民緑税活用）

急傾斜、斜面形状等で山地災害防止機能の高度発揮が求められる概ね45年生以下のスギ・ヒノキ材を対象に、間伐木を利用した土留工の設置などの森林整備を実施します。環境対策育林実施箇所内を実施します。

- 内容 事業規模：簡易土留工等120ha、看板設置2基
- 予算額 3,420万円
- 担当課 農林水産課

2 快適な生活ができるまちづくり

(1) 情報化推進事業

町の一体感醸成のため、情報の一元化を図ると共に、高度情報通信社会に対応した情報基盤整備計画と情報通信技術・システムの利活用について検討を深め、住民の安心、安全を確立するための情報化に努めます。

○予算額 237万円

○担当課 企画課

(2) 余部橋りょう架替事業

兵庫県や関係市町等広域的な連携により、余部橋りょうの架け替え事業に負担金を拠出します。

○予算額 1,955万円

○担当課 企画課

(3) JR山陰本線・播但線輸送改善事業 ※新規

平成22年度の新余部橋りょうの完成により、JRが特急「はまかぜ」の新型車両を導入することを契機として、兵庫県や関係市町等が広域的な連携により、軌道、駅の改良など地上設備の改良を行うことで輸送改善を進め、利便性の向上と広域観光の強化を図る。

○予算額 266万円

○担当課 企画課

(4) 交通政策研究会運営事業（企画課）

平成20年10月に運行を開始した町民バス「夢つばめ」は、平成22年度末まで実証（試験）運行を行うこととしています。研究会で、住民とともに毎年評価、見直しを行い、運行の効率化と利便性の向上に努めながら、平成23年4月からの本格運行につなげていきます。

○予算額 29万円

○担当課 企画課

(5) 不法投棄ごみの回収（緊急雇用創出事業）

※新規

ごみのない町を目指し、町内に不法投棄された電化製品や廃タイヤ、ポイ捨てごみなどの回収を行うため、緊急雇用創出事業として、非正規労働者、中

高年齢者等の失業者を臨時職員として直接雇用し、短期雇用、就業機会の創出を図ります。

○予算額 297万円

○担当課 町民課



ジオパーククリーン作戦

(6) JR利用促進「町民ふれあいの旅」事業

JR浜坂駅の利用促進と町民の親睦、交流を深めるため、町民ふれあいの旅を実施します。

○予算額 20万円

○担当課 企画課

(7) JR利用促進「職員e-出張」事業

JR浜坂駅の利用促進と特急はまかぜの全便鳥取延伸を図るため、職員の神戸、大阪などへの一人出張時には「e-出張」により特急はまかぜを利用します。

※「e-出張」とは・・・エコノミー、エコロジーの頭文字をとって、エコ（e）出張

○予算額 65万円

○担当課 企画課

(8) 公共交通利用促進事業「新温泉町ふれあいサロン」

浜坂駅構内の一角に鉄道グッズの展示と町の案内所機能をもった鉄道グッズ館「鉄子の部屋」を設置しています。同館の充実を図るため、現行のスペースを拡張し、足湯とともにさらに駅前の賑わいを創出します。

○予算額 89万円

○担当課 企画課



(9) 町民バス・町民タクシー運行事業

全但バスの退出に伴って、地域住民の生活交通に必要な最小限度の移動手段を維持、確保するため、町主体の自主運行バスを導入しています。また、公共交通機関が運行されていない地域の日常生活支援として、町民タクシー事業を実施します。

○予算額 1億2,623万円

○担当課 企画課



町民バス「夢つばめ」

(10) ゆめぐりエクスプレスバス運行費補助

湯村温泉とJR鳥取駅間の定期バスを運行することによって、県境を越えた両地域を結ぶ公共交通手段を確保するとともに、湯村温泉街などへの誘客促進を図るため、バス運行にかかる補助と利用促進を目的に関係機関で構成された運行協議会の運営を行います。

○予算額 630万円

○担当課 企画課

(11) 中心市街地活性化推進事業（まちづくり交付金事業） ※新規

浜坂地域中心市街地における歴史的景観特性を活かした魅力ある拠点整備と観光資源の連携強化による集客力向上及び市街地の活性化を図ると共に、浜坂駅南北自由通路などの都市基盤整備を行い、若年者から高齢者まで全ての住民が安心して暮らせるまちの実現を目指すため、まちづくり交付金事業を実施します。（事業期間：平成21年度～25年度）

○内容 平成21年度事業 南北自由通路整備事業（調査）
町道浜坂西線他2路線消雪工整備事業（調査）

○予算額 2,291万円

○担当課 建設課

(12) 街路事業（県営事業）

都市計画道路浜坂駅港湾線の事業進捗を図ります。

○内容（全体計画）延長1,140m、幅員15m

○予算額 4,750万円

○担当課 建設課

(13) 景観形成事業

地域の魅力ある景観を保全し、住民にとってより住みやすく、豊かな気持ちで暮らせる、誇りの持てるまちづくりを推進します。

○内容 特別誘導区域（浜坂味原川周辺地区、湯・細田地区）内の景観形成の推進

○予算額 112万円

○担当課 建設課

(14) 新市水源高度浄水施設整備・久斗山水源改良事業 ※新規

安心、安全な水道水の給水のため、クリプトなどの病原菌対策として、新市水源では紫外線滅菌施設を、久斗山水源では膜ろ過施設を新設します。

○予算額 1億6,768万円

○担当課 上下水道課

3 地球環境に優しいまちづくり

(1) 北但行政事務組合負担金

循環型社会形成を推進するため、北但行政事務組合（1市2町構成）が建設するごみ、汚泥処理施設整備にかかる生活環境影響調査等を実施する負担金として拠出します。

○予算額 3,976万円

○担当課 町民課

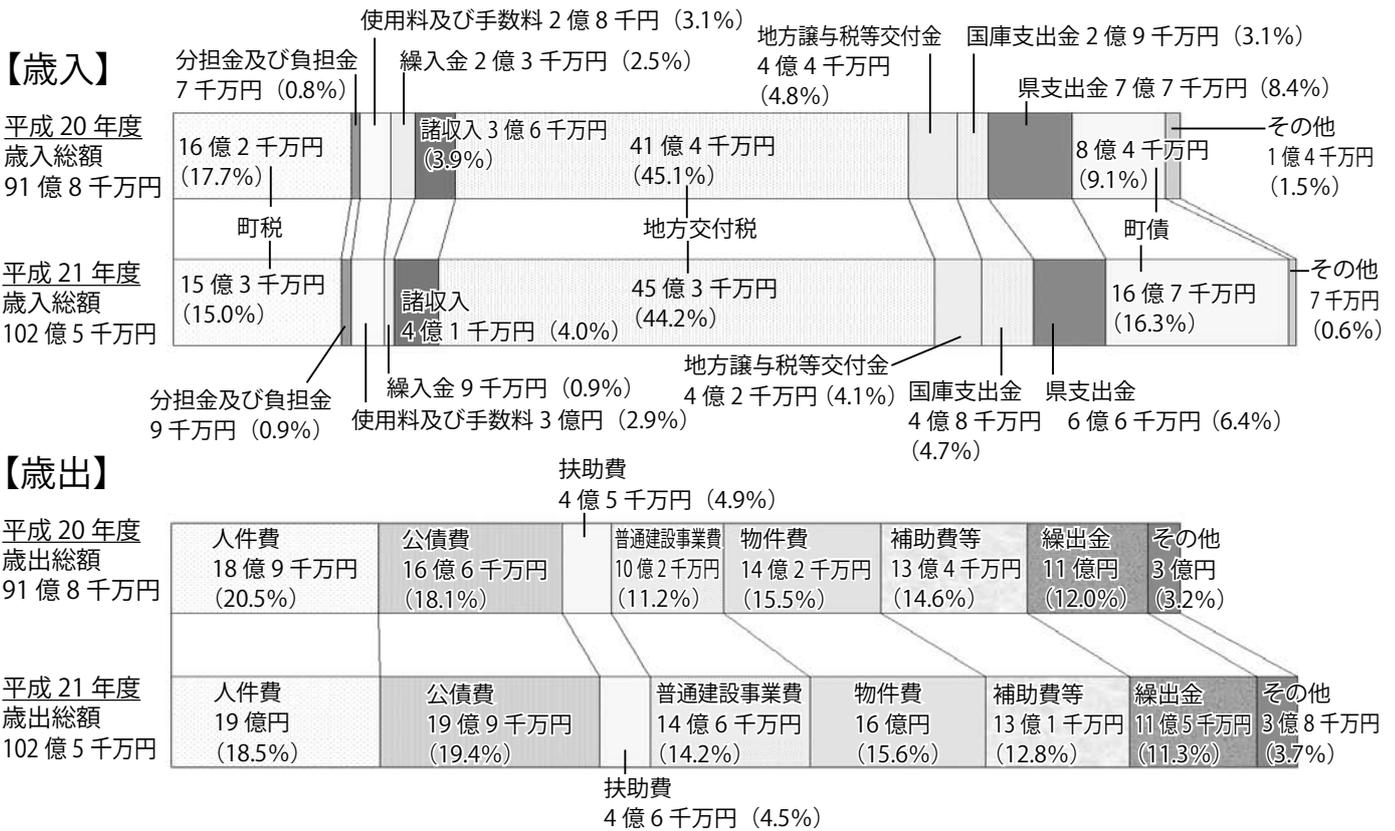


まちの台所事情

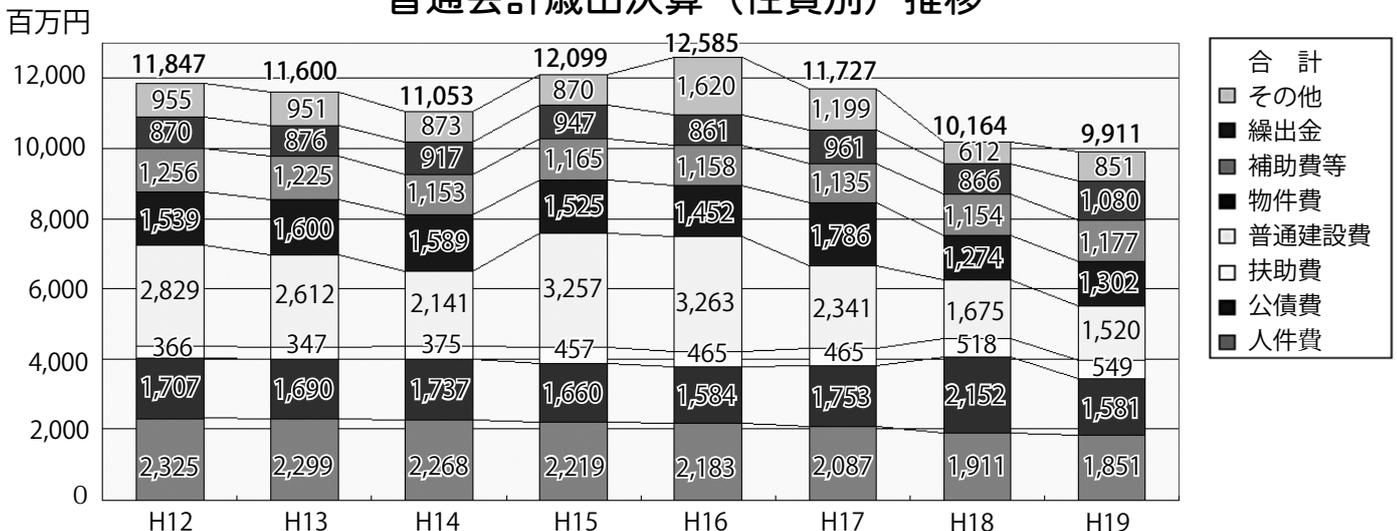
1 普通会計予算の推移

(平成20年度、21年度の当初予算比較)

※「普通会計」とは、総務省の定める会計区分の一つです。一般会計、特別会計など各会計で経理する事業の範囲が自治体ごとに異なっているため、統一的な基準で整理して比較できるようにした統計上の会計区分をいいます。本町では、具体的に一般会計、残土処分場事業特別会計、コミュニティ・プラント事業特別会計をいいます。



普通会計歳出決算（性質別）推移



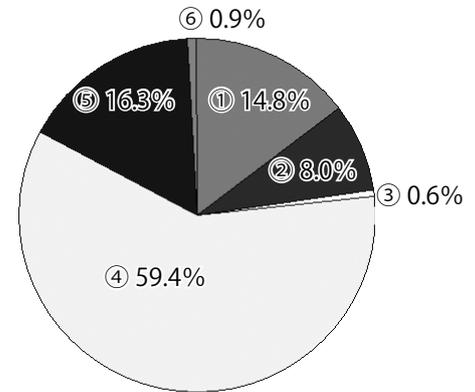
※端数処理により合計と内訳が一致しない場合があります。

2 町の予算を家計に例えてみると…

平成 21 年度の新温泉町の普通会計予算 102 億 5 千万円を、年収 420 万円（月収 35 万円）の家計に例えてみると

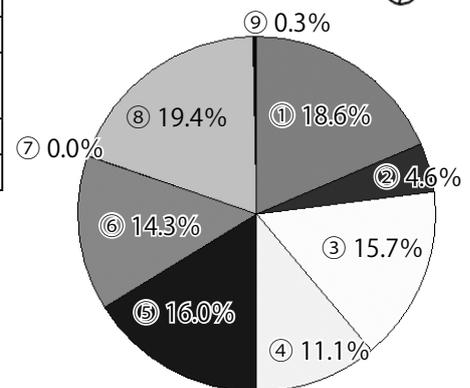
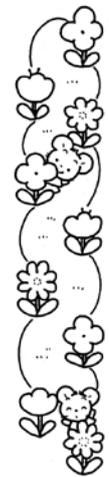
【〇〇家族】 サラリーマンのお父さん、パート勤めのお母さん、子ども 2 人

収 入	家計（1 か月）	町予算（年間予算）
① 給料（町税）	52,000 円	15 億 3,000 万円
② パート収入 （使用料・手数料等）	28,000 円	8 億 2,000 万円
③ 財産の運用・売却益 （財産収入）	2,000 円	6,000 万円
④ 親からの援助など （地方交付税、国・県支出金等）	208,000 円	60 億 8,000 万円
⑤ 借金（車・住宅ローン） （町債）	57,000 円	16 億 7,000 万円
⑥ 貯金の取り崩し（繰入金）	3,000 円	9,000 万円
合 計	350,000 円	102 億 5,000 万円



お父さん、お母さんの収入だけでは生活できず、親からの援助により生計が成り立っている状況は昨年までと変わりありません。昨年に比べて、収入で給料や親からの援助が減ったところを借金で補っているように見えますが、この増額は、過去の高い利率の借入分を低い利率へ借り換えることに伴う増額です。これは将来の返済額を減らすためのもので、今年度の借金の返済も増額になります。その他、食費、子どもへの仕送り、サークル等の会費を減らした節約分を自宅の増改築にまわすなどのやり繰りをしているのが今年度の家計の現状です。

支 出	家計（1 か月）	町予算（年間予算）
① 食費（人件費）	65,000 円	19 億円
② 医療費・教育費・保育料等 （扶助費）	16,000 円	4 億 6,000 万円
③ 光熱水費・電話代・生活用品等 （物件費）	55,000 円	16 億円
④ 子どもへの仕送り（繰出金）	39,000 円	11 億 5,000 万円
⑤ サークル等の会費、知人への援助 （補助費等及び出資・貸付金）	56,000 円	16 億 5,000 万円
⑥ 自宅の増改築・車や電気製品 の購入等（普通建設事業費・ 維持補修費）	50,000 円	14 億 6,000 万円
⑦ 貯金の積立て（積立金）	0 円	1,000 万円
⑧ 借金の返済（ローンの支払い） （公債費）	68,000 円	19 億 9,000 万円
⑨ その他（予備費）	1,000 円	3,000 万円
合 計	350,000 円	102 億 5,000 万円

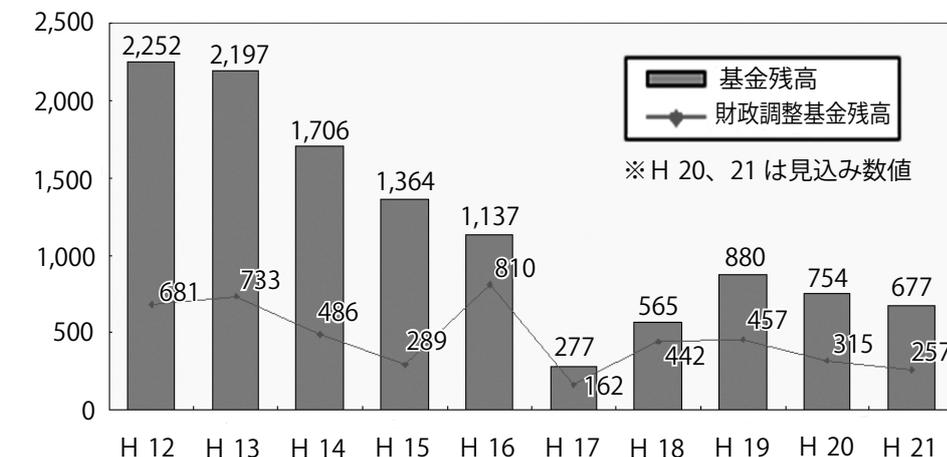


3 貯金の状況

貯金（基金）のうち、用途が制限されていない財政調整基金は、平成20年度末で約3億2千万円となっています。平成21年度当初予算では、約3億

2千万円の中から、収支不足を補うため約6千万円を取り崩すこととしました。

基金残高の推移（普通会計）



1人当たり基金残高
(普通会計)

17年度末	15千円
18年度末	32千円
19年度末	50千円



【基金残高の状況】

(単位：千円)

基金名	平成19年度末 現在高	平成20年度末 現在高見込額 (A)	平成21年度		平成21年度末 現在高見込額 (A)+(B)-(C)	
			積立予定額 (B)	取崩予定額 (C)		
① 財政調整基金	456,565	315,269	121	58,141	257,249	
② 減債基金	24,468	11,103	3,395	0	14,498	
③ その他 特定目的基金	ふるさと水と土対策基金	2,575	2,585	7	0	2,592
	地域福祉基金	54	54	0	0	54
	海岸環境美化基金	79	79	0	0	79
	地域振興基金	300,000	300,000	0	0	300,000
	十字谷残土処分場整備基金	40,143	47,711	6,177	1	53,887
	下々山公共建設残土処分場事業基金	50,117	68,157	197	27,726	40,628
	二日市温泉配湯事業施設整備基金	1,571	2,212	756	0	2,968
	ふるさとづくり基金	—	1,920	501	1,920	501
コミュニティ・プラント事業基金	3,996	4,900	2	1	4,901	
計 ①～③ (普通会計)	879,568	753,990	11,156	87,789	677,357	
④ 土地開発基金 (現金のみ)	73,806	49,495	186	0	49,681	
計 ①～④	953,374	803,485	11,342	87,789	727,038	
⑤ 国民健康保険財政調整運用基金	371,045	302,785	893	1	303,677	
⑥ 国民健康保険直営診療所基金	110	111	1	0	112	
⑦ 介護保険給付費準備基金	109,351	48,473	244	6,717	42,000	
⑧ 介護従事者処遇改善臨時特例基金	—	8,721	0	3,591	5,130	
⑨ 生活排水処理事業基金 (コミプラ除く)	100,685	42,878	2,689	15,000	30,567	
⑩ 七釜温泉配湯事業施設整備積立基金	23,598	31,068	2,500	1	33,567	
⑪ 浜坂簡易水道事業施設整備基金	8,000	14,000	4,000	0	18,000	
合計 ①～⑪	1,566,163	1,251,521	21,669	113,099	1,160,091	



4 借金の状況

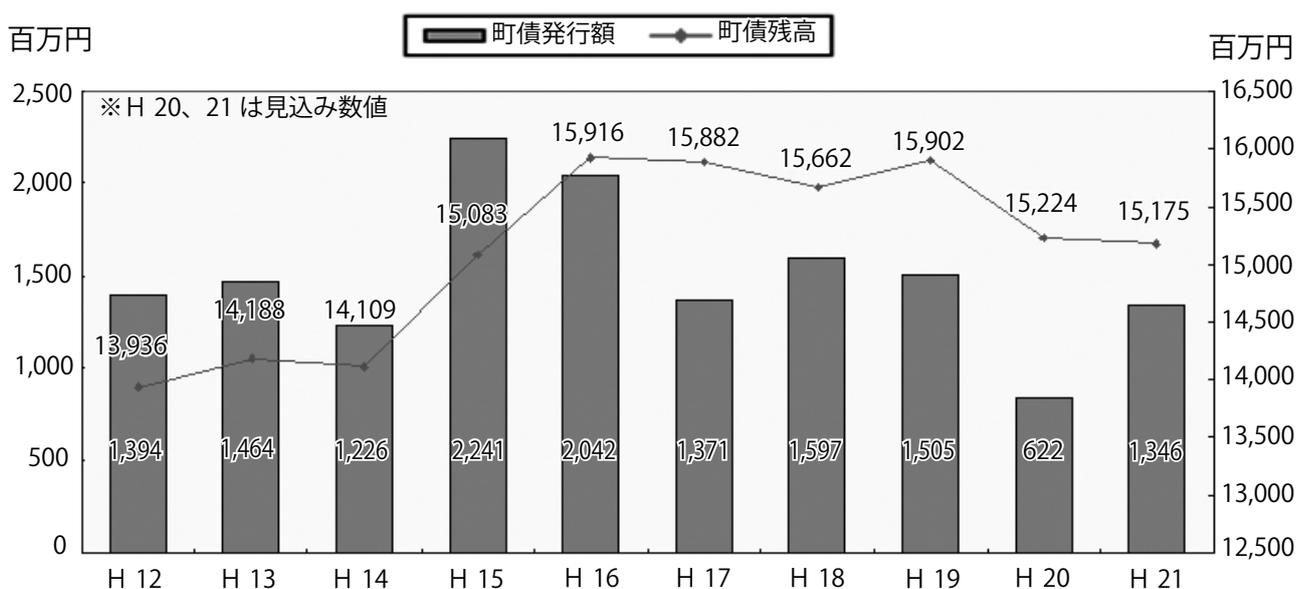
町の借金は、平成19年度末現在で、全会計合わせると約299億8千万円（平成18年度末約304億9千万円）、町民一人あたり約171万円（同約168万円）となり、普通会計の借金では約159億円（同約156億6千万円）で、町民一人あたり約90万円（同88万円）となります。

財政健全化のため、返済額を超える借入れをしないことを基本とし、有利な財源である合併特例債、過疎対策事業債を活用していくなど適切な管理を行います。

1人当たり町債残高 (普通会計)

17年度末	877千円
18年度末	880千円
19年度末	909千円

町債残高の推移 (普通会計)



【町債残高の状況】

(単位：千円)

区分	平成19年度末	平成20年度末見込	平成21年度末見込
一般会計	15,310,566	14,723,191	14,758,720
コミュニティ・プラント事業特別会計	591,258	501,035	416,264
①小計(普通会計)	15,901,824	15,224,226	15,174,984
簡易水道事業特別会計	0	0	70,000
下水道事業特別会計	10,116,555	9,536,439	8,953,125
浜坂温泉配湯事業会計	0	0	0
水道事業会計	2,219,962	2,127,091	2,085,714
公立浜坂病院事業会計	1,746,079	1,636,581	1,530,093
②小計	14,082,596	13,300,111	12,638,932
①+②合計	29,984,420	28,524,337	27,813,916

◆町債とは・・・

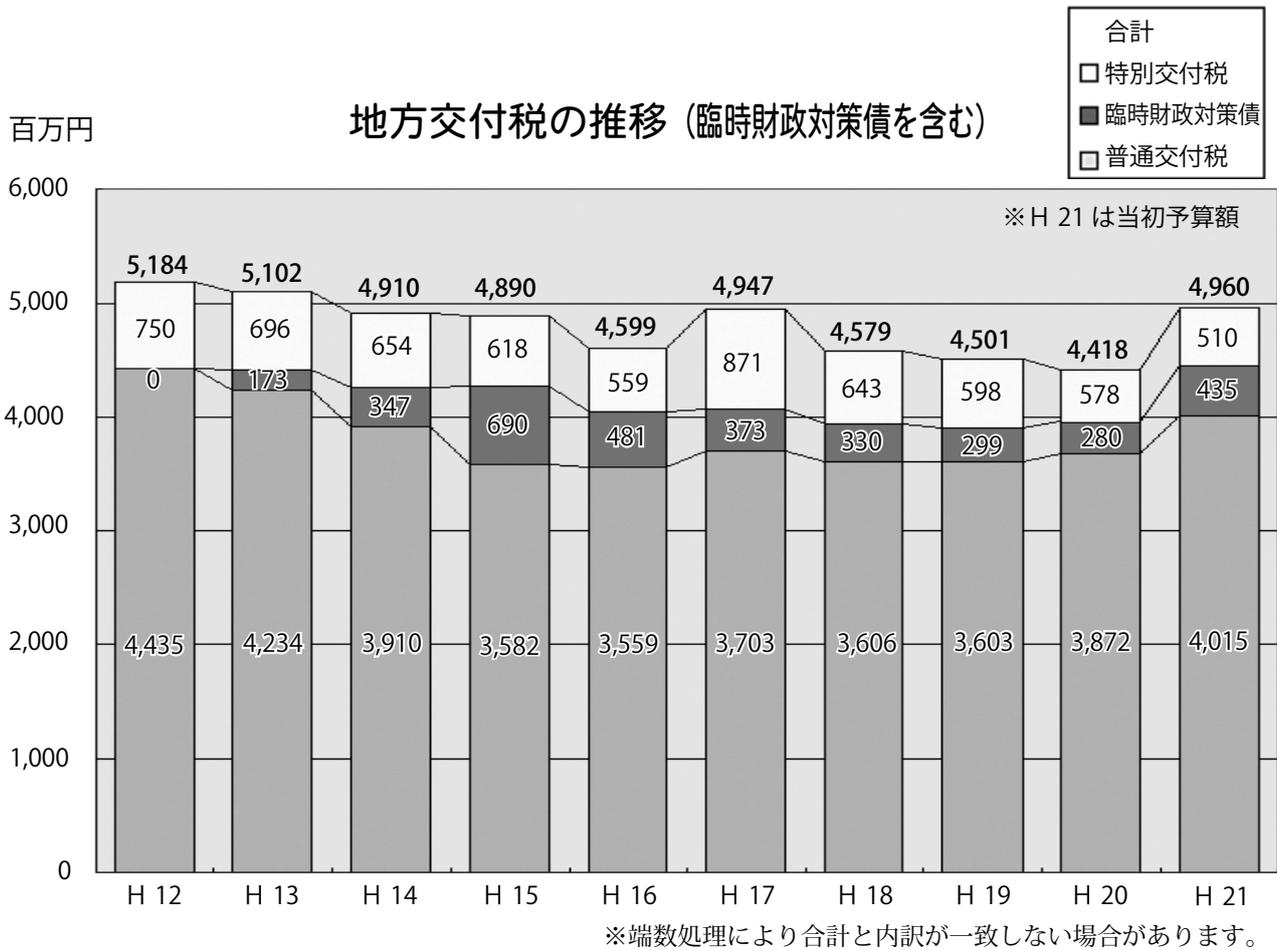
町債は、学校や道路、下水道などの多額の経費を要する建設事業を行うための借金であり、長期間、住民に活用されるため、建設時の住民だけに負担してもらったのではなく、次の世代にも負担を求め、世代間でこれらの事業に対する負担の公平を図るものです。

町債を発行して事業を行うことで、地方交付税による国の財政支援を受けられるように補助制度が変わってきたため、町債を有効に活用していくことも大切です。ただし、財政健全化のため借金の残高を減らすことも重要です。

5 地方交付税・町税の状況

地方交付税には、普通交付税と特別交付税があります。平成21年度の普通交付税は、新たに地域雇用を推進するために設けられた地域雇用創出推進費などにより増額となり、また、除雪経費など地域特有の事情に対する特別交付税も増額し、全体として平成20年度予算に対し5億4千万円の増となります。

町税は、平成21年度における税制改正を含め、徴収努力等を勘案した結果、約9千万円の減となります。



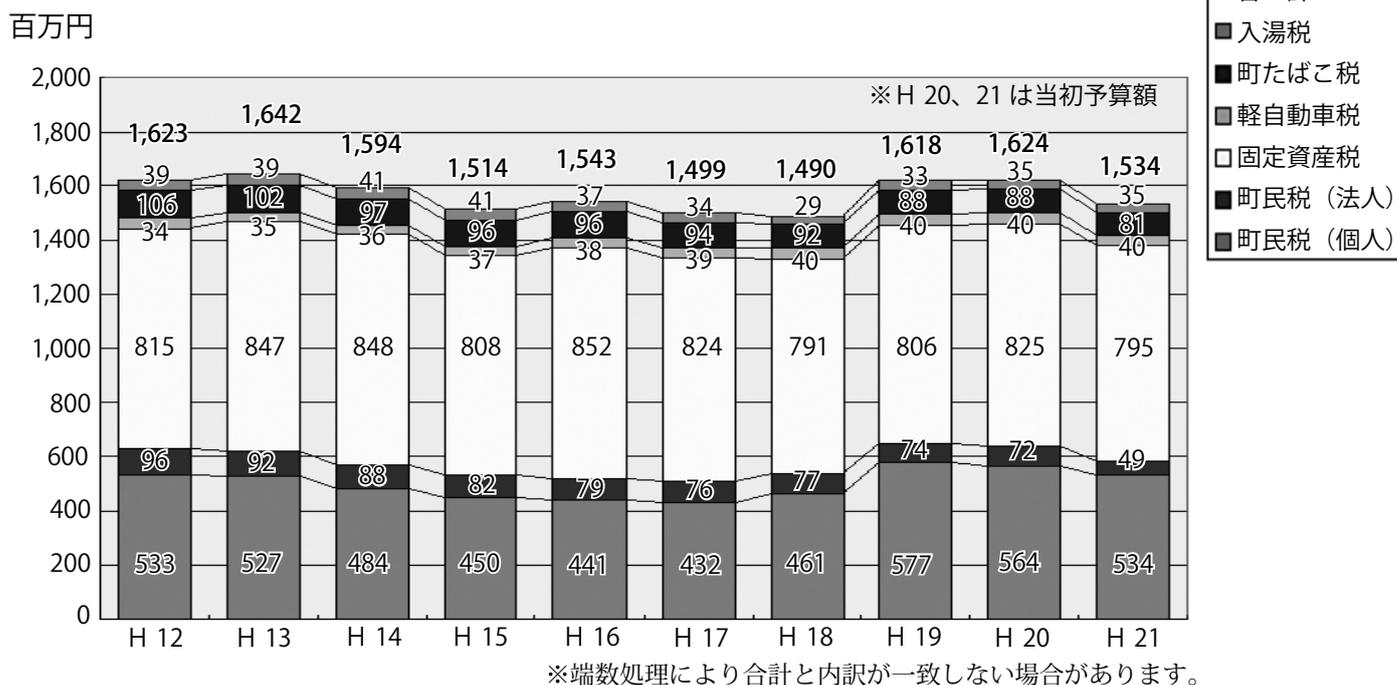
臨時財政対策債とは・・・

地方の財源不足を補てんするため特例的に認められる地方債です。従来は、この財源不足額を補てんするため、国が地方交付税特別会計で借り入れし、地方交付税として地方自治体に配分してきました。

平成13年から自治体自ら直接借り入れる方式に切り替えられました。これを「臨時財政対策債」といいます。



町税の推移



6 財政指標の状況

項目	18年度	19年度
経常収支比率	94.6%	94.2%
起債制限比率	14.8%	14.7%
実質公債費比率	17.9%	18.3%
標準財政規模	56億9,659万円	57億1,171万円

【用語解説】

経常収支比率	<p>人件費（食費）、扶助費（医療費等）、公債費（借金の返済）などの義務的な経常経費に、町税（給料）や地方交付税（親からの援助）などの経常的収入がどれだけ充当されているかを示します。数値が高くなるほど財政の自由度、健全性が失われていることを示します。</p> <p>※例えば、10万円の収入のうち、Aさんは生活費など必ず必要な経費が9万円とすると、経常収支比率は9万円÷10万円＝90%となります。Bさんは生活費など必ず必要な経費が7万円とすると、経常収支比率は70%となり、Bさんの方が自由に使えるお金が多いということになります。</p>
起債制限比率	<p>収入に占める借金の返済額（地方交付税で措置される額を収入・返済額から除く）の割合を示します。3カ年の平均値が20%以上なら起債が制限されます。</p> <p>※例えば、10万円の収入のうち、借金の返済にあてるお金が1万5,000円であれば、起債制限比率は15%となります。</p>
実質公債費比率	<p>起債制限比率に、下水道、病院などの公営企業への繰出等（子どもへの仕送り）を加えた町全体の実質的な債務をもとに算出します。3カ年の平均値が18%以上になると起債の許可が必要となり、25%以上なら起債が制限されます。</p>
標準財政規模	<p>地方自治体が標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源（※）の規模を示す数値</p> <p>※一般財源とは、歳入のうち町税などのように用途が特定されず、どのような経費にも使用することができる資金のことです。</p>

行財政改革への取り組み

本年度は、平成18年度に策定した行財政改革大綱に基づく実施計画の最終年度として、人件費の抑制をはじめ事務事業、補助金等の見直しなど、取り組みの総括及び検証を行い、今後の行財政運営に活かしていきます。

行革効果額は、平成21年度当初予算では1億2,400万円（計画額5,900万円：210.2%）と計画を大きく上回っていますが、平成19年度までの実績では、7億円（計画額7億6,400万円：91.6%）と計画をやや下回っています。

【行財政改革の取り組みによる効果額】

約11億3,000万円（平成18年度～21年度の4年間）

【内 訳】

単位：百万円

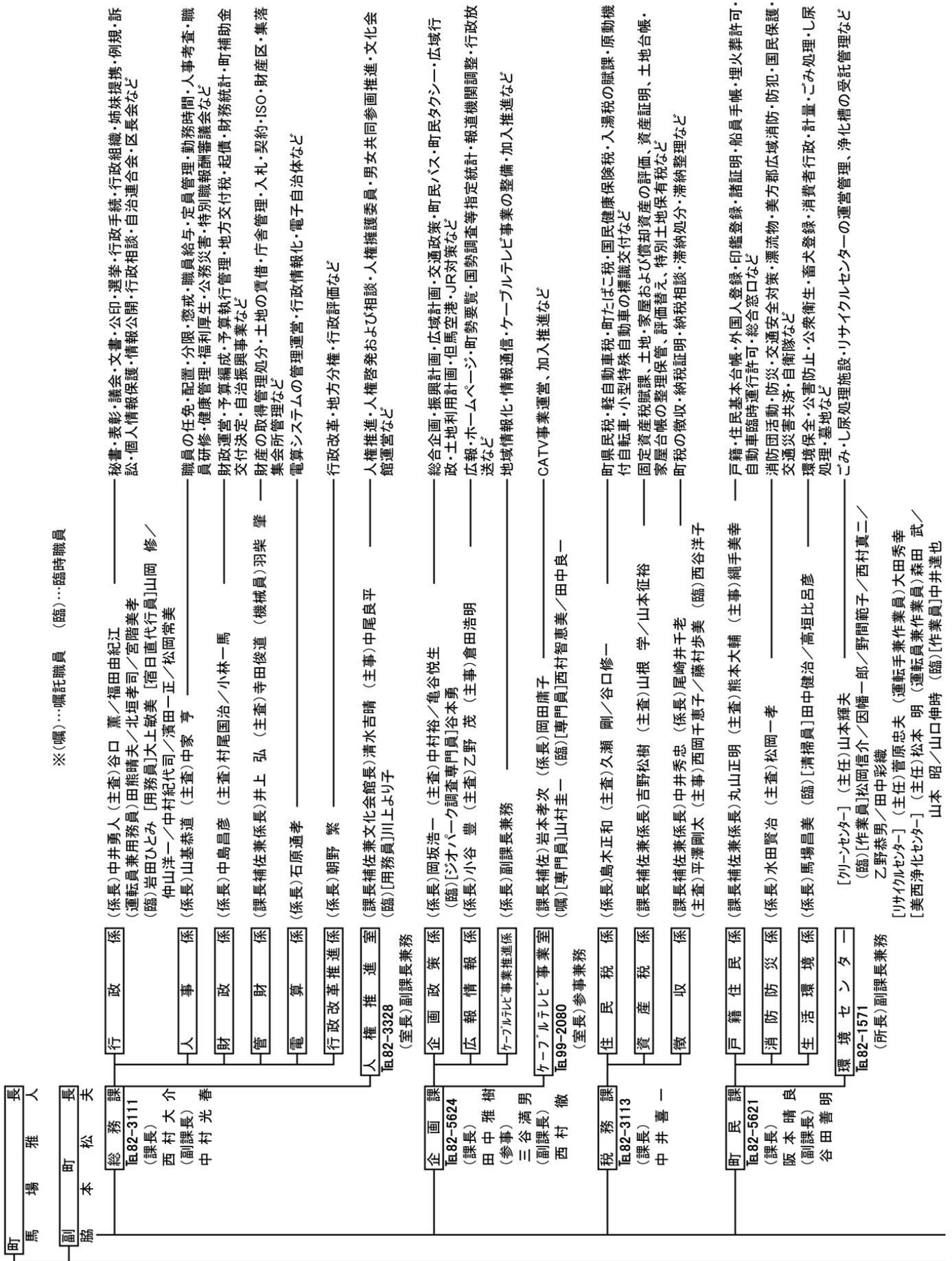
項 目	平成21年度までの 計画効果額	実績及び当初予算における効果額		
		19年度まで	21年度	
1 住民と行政のパートナーシップの構築	—	19年度まで	21年度	
(1) 行政への住民参加の促進		計画効果額	—	
(2) 公正の確保と透明性の向上		効果額	—	—
(3) 男女共同参画社会の構築				
2 健全な財政基盤の確立	716	19年度まで	21年度	
(1) 経費の節減と財政の健全化		計画効果額	470	45
(2) 未利用地等の売却処分の推進			効果額	327
(3) 使用料・手数料の適正化				
(4) 税・税外収入確保対策の実施				
(5) 公共工事のコスト縮減				
(6) 公営企業等の経営健全化				
(7) 入札制度の見直し				
3 事務・事業の再編・整理	44	19年度まで	21年度	
(1) 事務事業の見直し		計画効果額	24	17
(2) 民間委託等の推進（指定管理者制度の活用を含む）			効果額	26
(3) 行政評価制度の導入				
(4) 補助金等の整理合理化				
4 組織・機構の整備と人事管理の適正化	369	19年度まで	21年度	
(1) 組織・機構の見直し		計画効果額	269	△3
(2) 定員管理の適正化			効果額	336
(3) 給与・手当の適正化				
(4) 人材育成の推進				
(5) 第3セクターの経営評価				
5 行政サービスの向上と新時代の行政の推進	1	19年度まで	21年度	
(1) 生活者の視点に立った行政の運営		計画効果額	1	0
(2) 行政手続の簡素化と住民の利便性の向上			効果額	11
(3) 電子自治体の推進				
(4) よりよい子育て・子どもの育つ環境づくり				
合 計	1,130	計画効果額	764	59
		効果額	700	124

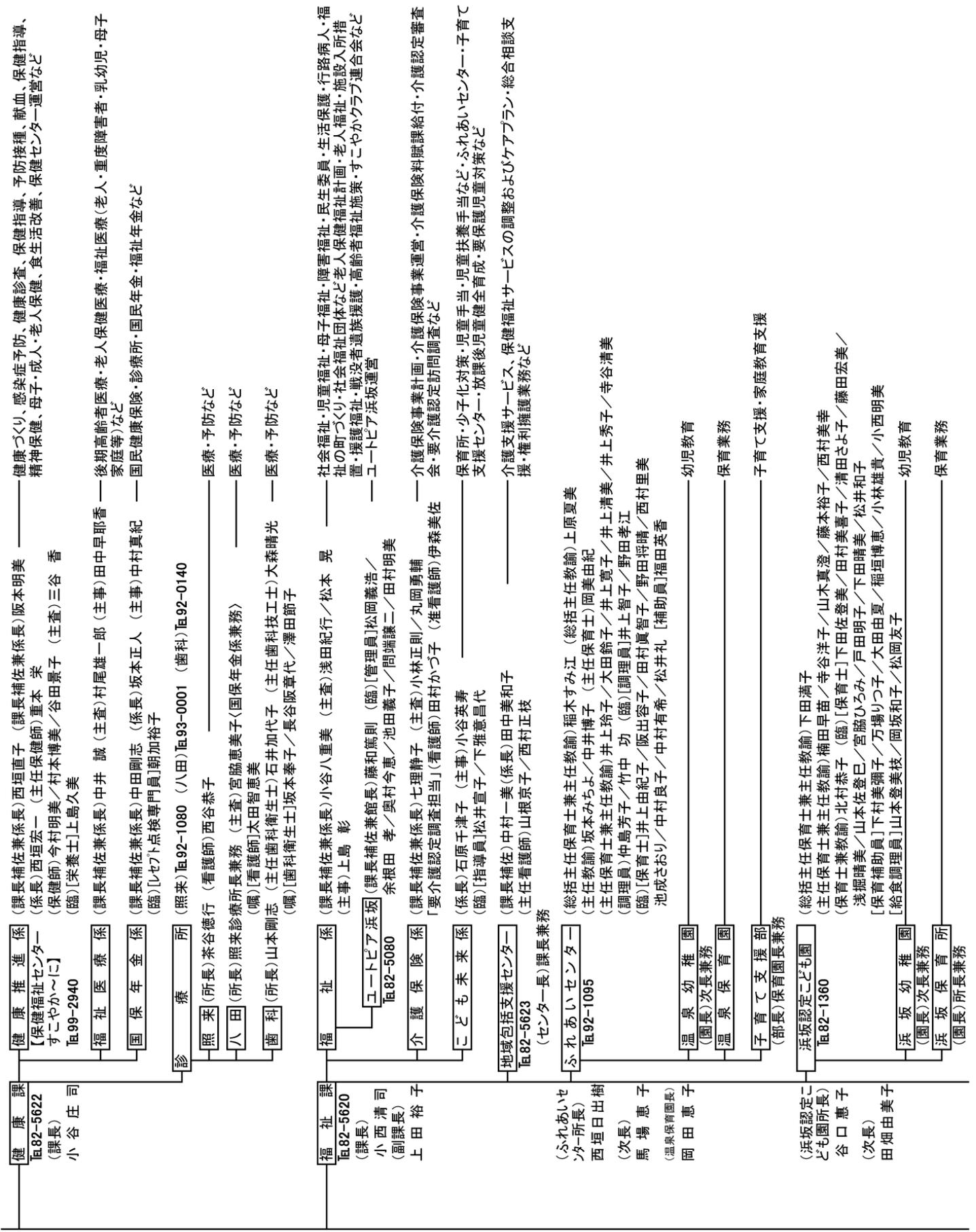
※効果額・・・19年度までは実績額、21年度は当初予算における効果額

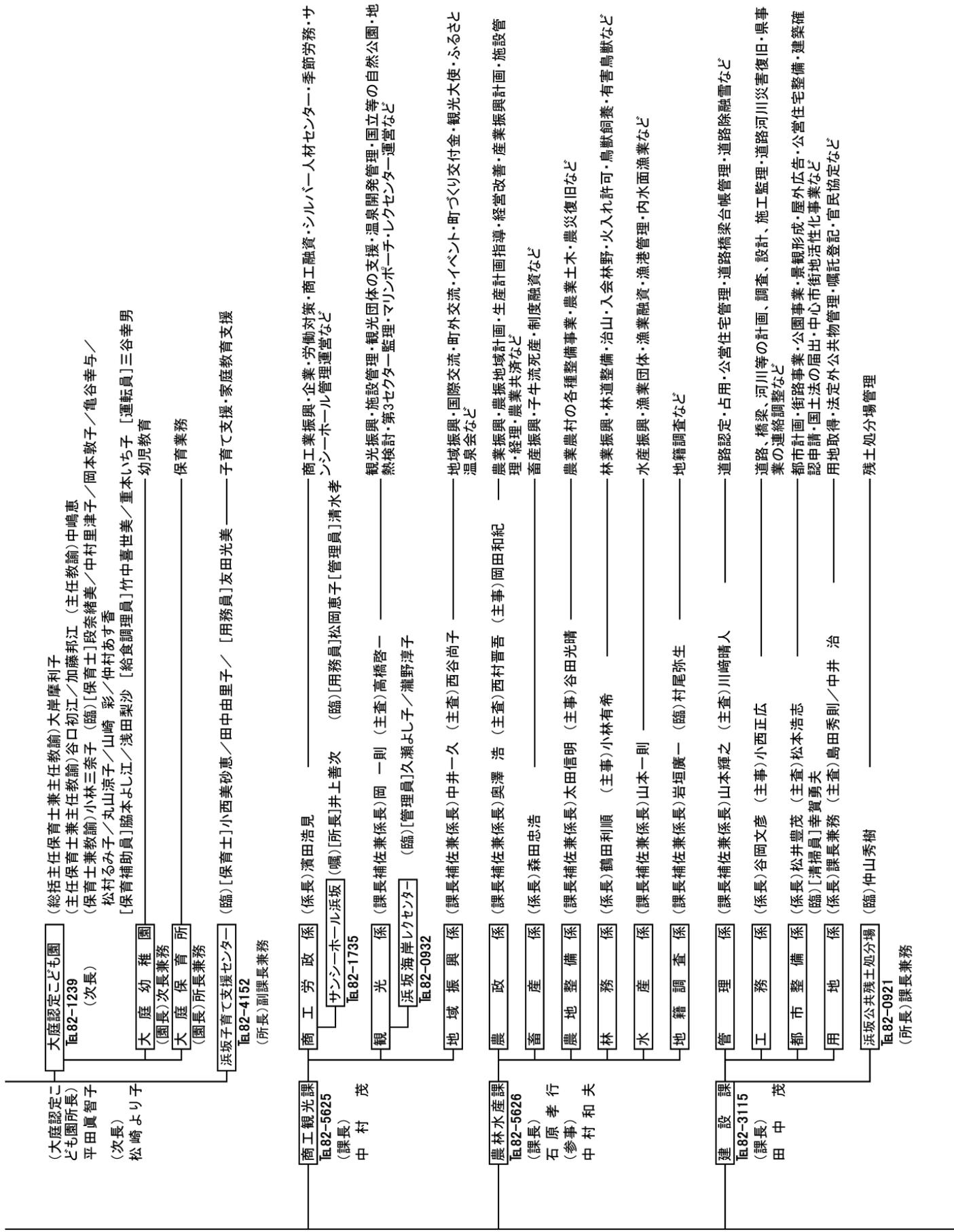
【目標指標】

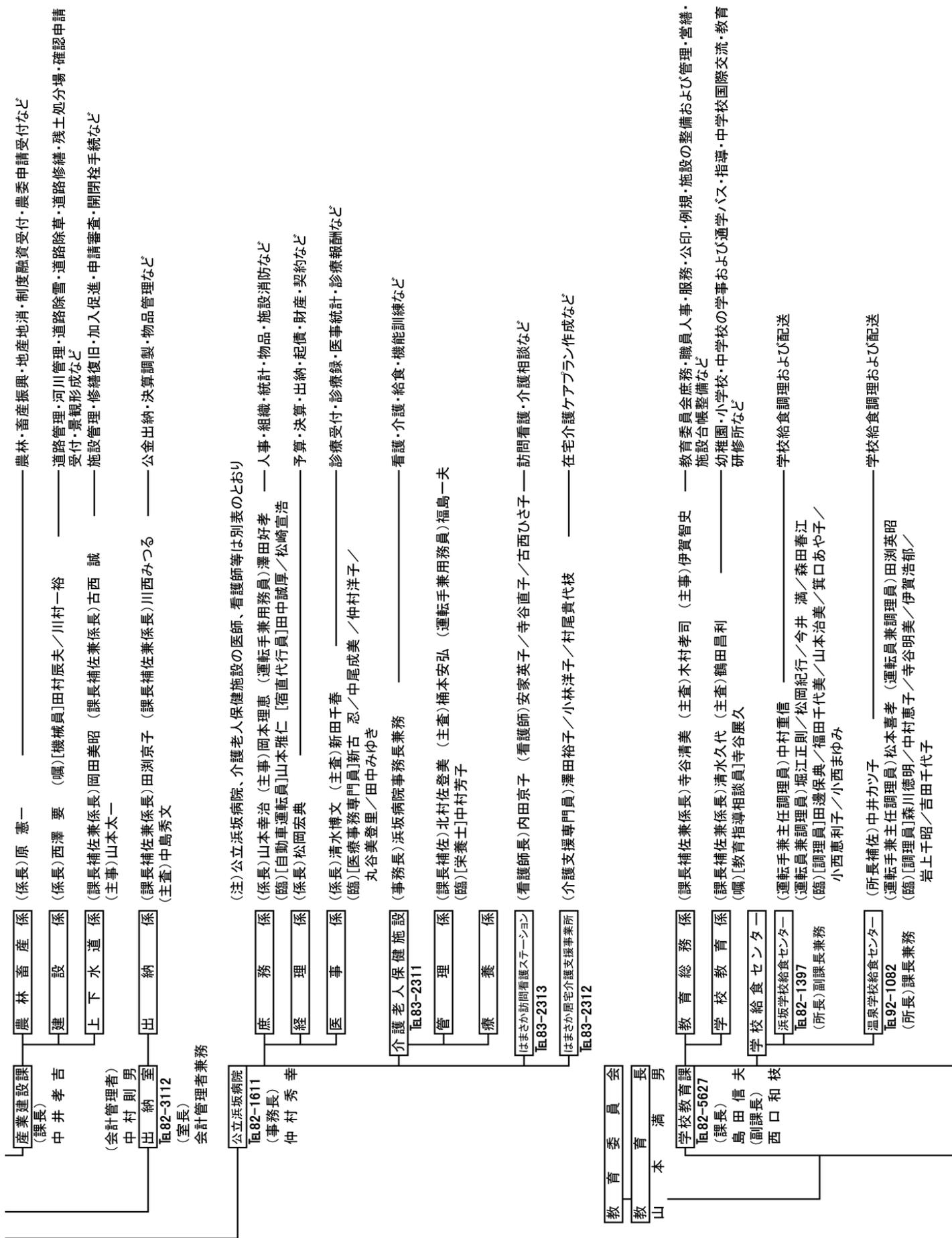
	平成17年度		平成21年度目標
経常収支比率	92.9%	⇒	90.0%未満
起債制限比率	14.3%		14.0%未満
実質公債費比率	16.0%		18.0%未満
町税徴収率 (現年課税分)	97.5%		98.0%
職員数	合併時～21年度で45人（12%）削減		

新温泉町事務組織機構図 (平成21年 5月 1日)

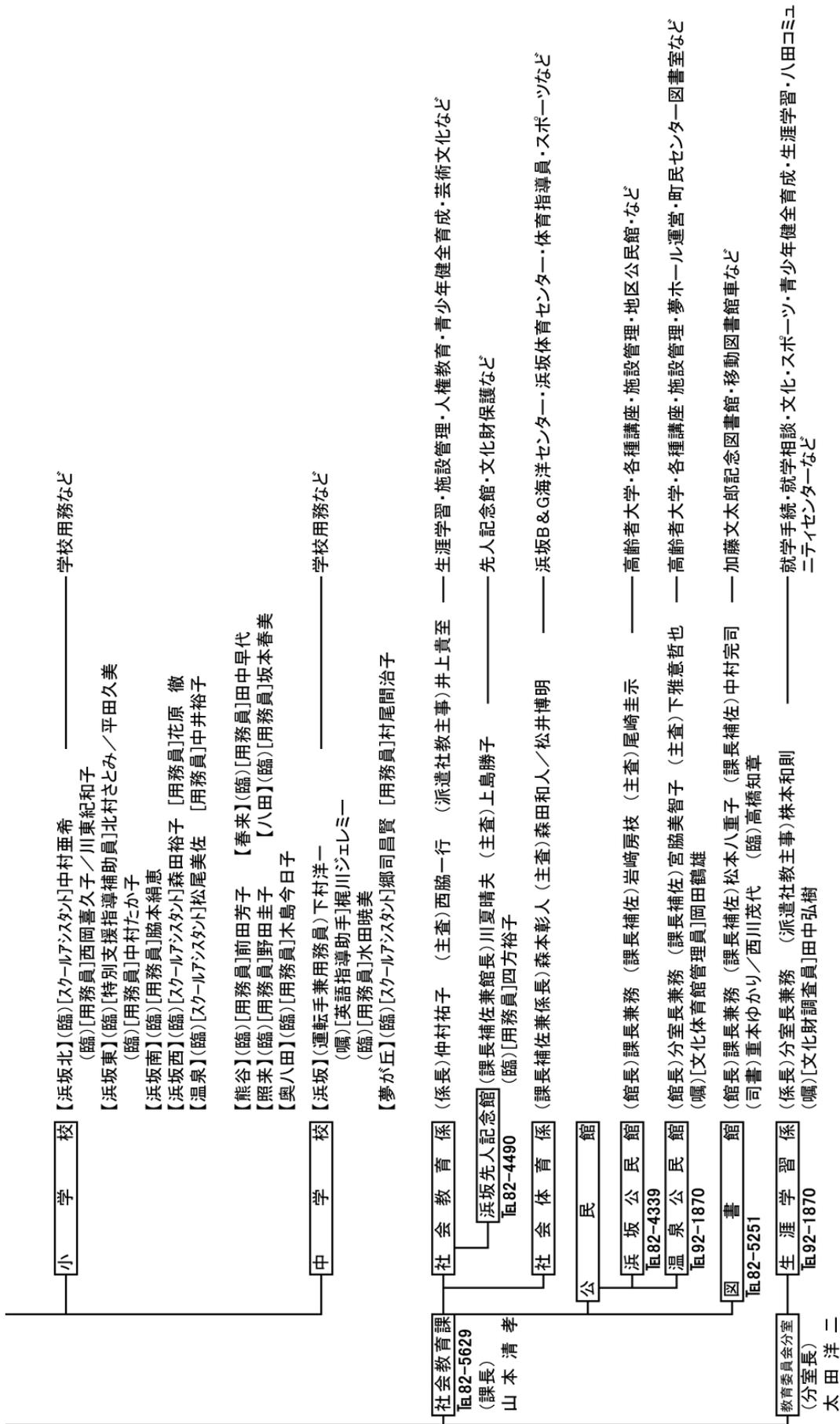








(注) 公立浜坂病院、介護老人保健施設の医師、看護師等は別表のとおり



議 会

請願・陳情・意見書・本会議・本会議・委員会・傍聴・監査委員など

(課長補佐)松原真紀江 (主事)沼田麻美

TEL 82-5628

川崎雅洋

農業委員会

農業委員会・農業者年金・農地法等に基づく許認可申請・諸証明・台帳データ入力など

(事務局次長)農林水産課参事兼務

(局長)

農林水産課長兼務

美方郡広域事務組合派遣

(農林水産課参事)田中豊 (町民課課長補佐)有本かな江 (農林水産課係長)山本洋行

新温泉土木事務所派遣

(建設課主事)山根弘之

北但行政事務組合派遣

(町民課課長補佐)長谷阪仁志

但馬広域行政事務組合派遣

(企画課係長)東康次郎

ひょうごツーリズム協会派遣

(商工観光課主査)中井達也

別表【公立浜坂病院】

院長	古澤康之 (内科医長)松岡 学 (外科医長)山田貴裕 [内科]照来診療所長兼務
薬局	(薬剤師)杉本真弓 / 松岡泰三
検査	(臨床検査技師) / 吉田義美 / 中村真澄 (臨) [臨床検査技師] 大江保廣
放射線	(診療放射線技師) 中安博彰 / 大下 勝 / 小林俊一 / 島田伸吾
リハビリテーション	(理学療法士) 島木かおり (按摩マッサージ指圧師) 岩崎章雄
給食	(管理栄養士) 中島友子
看護	(看護師長) 上島啓子
外来	(主任看護師) 尾崎 淳子 (看護師) 尾崎喜代美 / 宮脇敦子 / 宅見香代子 / 田野恵子 / 濱木恵子 / 西谷弘子 / 伊賀聖香 / 前垣桂子 / 田中弥生 / 田原静枝 / 仲谷美香 / 宮川みどり / 西澤女具美 / 高橋秀子 / 櫻田町子 (准看護師) 田村高子 / 宮脇初江
	(主任看護師) 西谷朝恵
	[内科] (看護師) 岡田きよみ (臨) 長谷坂真名美
	[外科] (准看護師) 多田磨佐美
	[耳鼻咽喉科] (看護師) 中村智子
	[整形外科] (准看護師) 仲山節子
	(看護補助) 竹中美枝子
	(臨) [看護補助] 島田たつ代 / 下岡佐代子 / 山本悦子 / 竹田あゆみ / 西垣直美
	(看護師) 中村美和 / 澤田弘子 / 吉池理恵 / 株本田美子

別表【介護老人保健施設ささゆり】

(施設長) 浅田正博 (看護師長) 浜坂病院看護師長兼務	
療養係	(主任) 陣在恭子 (支援相談員) 陣在佳子 (看護師) 宮本全乃 / 中山慶子 / 瓜ヶ平美津子 / 澤田菊代 / 松岡泰江 / 岩本美幸 (准看護師) 中村みさ子 / 本多千恵美 / 藤原雅子 / 松尾 すみえ (介護福祉士) 朝野勝代 / 谷村美紀 / 谷村雄一郎 / 小谷さおり / 北垣真貴子 / 岡田美由紀 / 小林紗代子 / 池成真紀子 / 中村浩二 / 池田真奈美 / 田村篤彦 (理学療法士) 中島義和 (臨) [介護員] 中村和子 / 西村曉美 / 宮階紀美子 / 上島祥枝 / 渡辺清美 / 清水恵子 / 門脇啓子 / 仲山美由紀 / 河嶋みどり / 山本由紀子 / 福田絹江 / 坂本ゆかり / 高松浅美

兵庫県知事選挙

投票日 **7** 月 **5** 日 (日)

投票時間 午前7時～午後8時 (一部の地域を除く)

投票日当日、仕事、買い物、レジャーなどの予定がある方は、期日前投票をすることができます。

【期日前投票のできる期間・場所】

6月19日(金)～7月4日(土)

浜坂多目的集会施設 ・ 新温泉町民センター

詳しくは、新温泉町選挙管理委員会(82-3111)へお問い合わせ下さい。

みなさんそろって投票しましょう！！

新温泉町長選挙及び 新温泉町議会議員選挙

投票日 **11** 月 **8** 日 (日)

投票時間 午前7時～午後8時 (一部の地域を除く)

投票日当日、仕事、買い物、レジャーなどの予定がある方は、期日前投票をすることができます。

【期日前投票のできる期間・場所】

11月4日(金)～11月7日(土)

浜坂多目的集会施設 ・ 新温泉町民センター

詳しくは、新温泉町選挙管理委員会(82-3111)へお問い合わせ下さい。

みなさんそろって投票しましょう！！

－平成21年度新温泉町予算説明書－ 「まちを知る 考える 参加する」私たちの新温泉町

発行 新温泉町／編集 企画課

〒669-6792 兵庫県美方郡新温泉町浜坂 2673 番地の1

電話 (0796) 82-3111 (代) / F A X (0796) 82-3054

町ホームページ <http://www.town.shinonsen.hyogo.jp/>